◆次なる舞台◆ 池本は今後も競泳を続ける考え。目下の目標は「ジャパンオープンに向け、タイムより良い泳ぎを」としている。同大会には弘中、楠田らも出場予定

チーム最後の大舞台で躍進

中大競泳 インカレ

応援団特集〈5面〉 箱根予選突破〈終面〉

中大スポーツ CHUDAI SPORTS
11月15日 金曜日
令和6年(2024)
〈第185号〉
中央大学体育連盟機関紙
発行人 志水 恒太
編集人 関 拓斗
八王子市東中野742－1
電話 042(674)2802

水泳部

圧倒的な泳ぎを見せた池本〈カメラ・土屋日向〉

◆池本凪沙プロフ
イール
いけもと・なぎさ 京都府
出身 近大附高卒 イトマン
東京所属 パリ五輪800㍍リレーでは1泳の重役を担った

「最後の力を振り絞って、中大にメダルを」

落ち着いてレースを進めた楠田㊦メダルを提げて笑顔を見せる松川〈カメラ・村野風珈〉

◆楠田夢プロフィール
くすだ・ゆめの 千葉県
出身 藤村女子高卒 藤村SS所属 高校時代、200㍍平泳ぎで22年世界短水路に出場

「凪沙さんの穴を埋めていければ」

安定感を見せた弘中〈カメラ・橋本唯花〉

◆弘中花音プロフ
イール
ひろなか・はなね 山口県
出身 四條畷高卒 イトマン東京所属 高校時代、200㍍背泳ぎで世界水泳福岡大会に出場

「大舞台でメダルが取れてうれしい」

◆第100回日本学生選手権水泳競技大会（9・4～8 東京アクアティクスセンター）
今大会で記念すべき100回目を迎えた競泳インカレで、絶対的エースの池本凪沙（法4）を筆頭に中大スイマーが力強い泳ぎを見せた。池本は主戦場の自由形で200㍍三連覇、100㍍連覇と有終の美を飾った他、女子の1年生や男子も複数名が堂々の表彰台入り。リレーでも男女ともに好成績を収めるなど、選手層の厚さを示した。

池本有終の美飾る

100㍍自由形の予選後、池本に最後のインカレに臨む心境を聞くと「実感が湧いていない」と返ってきた。だが決勝前にライバル神野ゆめ（中京大）と交わしたハグは紛れもなく、決意を感じさせるものだった。「2人でワンツーしたい」。言葉通り、決勝は神野との一騎打ちに。先に50㍍を折り返したのは、スプリンターの神野。だが飛ばし過ぎず「余力を持って6秒前半で（後半に）入れる」と焦らなかった。追い上げる池本が得意のラスト15㍍で逆転。大会記録に迫る54秒09で連覇した。「ここまで仲のいい選手は初めて」。レース後に神野と再びハグを交わし、健闘を称え合った。

200㍍は危なげなく勝利。序盤から伸びのある泳ぎで抜け出すと、体一つ分リードを保ち1分58秒03で三連覇を果たした。目標の二冠に「しっかり達成できてうれしい」。だがベスト更新ならず、高校以来の57秒台を「出せると思っていたが、詰めが甘かった」とタイムについては厳しい。「成長できる点が多くあるレースだった」

死力尽くし表彰台

昨年優勝の400㍍リレーは今年も強かった。1泳の池本からトップに躍り出ると、4泳の澤野莉子（文2）までその座を譲らず3分41秒11で連覇。澤野は「4年生と最後の400㍍リレーで何としても優勝したかった」とレースに懸ける思いを明かした。

800㍍リレーでも女子が躍進。1泳の弘中花音（文1）が3位と順調なスタートを切り、2泳の今野凛々香（文4）も自身の100㍍地点は2位だった。だが引き継ぎまでに8位に転落。表彰台は厳しいと思われたが、3泳の澤野が4位まで上げアンカー池本へ。そこからの力泳はすさまじかった。ぐんぐん追い上げる池本が、10㍍弱あった差を徐々に縮めていく様は圧巻。8月にはパリ五輪でこの種目を泳ぎ「自信や覚悟を持って挑みやすく」なった。残り25㍍。真横に3位の神奈川大が見えた。「これは行ける」。意地のラストスパートでゴール板をたたいた。「最後の力を振り絞って、中大にメダルを」。思いが届いた瞬間、笑顔の池本と、涙が止まらない3人がそこにいた。「本当にホッとしている」と池本。引退レースとなった今野は「このチームで良かったという一言に尽きる」と満足げだった。

中大水泳部の光明

池本の華々しい幕引きの一方で、インカレ初出場の1年生も大活躍を見せた。今大会、中大勢で最初にメダルを手にしたのは、200㍍背泳ぎに出場した前述の弘中だった。決勝は1年生の多いレースとなる中、序盤から3位につくと、そのまま順位を維持してフィニッシュ。レース後には「金メダルが良かったというのが素直な気持ち」と悔しさを見せるも「久しぶりに表彰台に乗って大きな舞台でメダルが取れてうれしい」と喜びをあらわにした。

もう1人の1年生楠田夢乃（文1）が弘中に続いた。200㍍平泳ぎ決勝、楠田はスタート直後4位で様子をうかがうと、100㍍までに2位に順位を上げた。4人での2位争いの結果3位でフィニッシュを迎え、銅メダルを獲得。楠田はレースを振り返り「素直にうれしいが、順位よりもタイムを狙っていたので、思ったようなタイムが出なかったのは悔しい」と語った。

100㍍でも決勝に進んだ弘中は「気持ちの面でも泳ぎの面でも何かつかめた感じがする」とインカレを振り返り「これを次の試合に生かしていけたら良いなと思います」と見据えた。

1カ月後。日本短水路選手権の舞台で2人は再び表彰台に立った。この時すでに新体制が始動しており、楠田は「凪沙さんが抜けて大きい穴ができてしまったが、それを少しずつ成長して埋めていければ」。1年生の台頭に、池本が去った中大水泳部の光明を見た気がした。（桑沢拓徒、松浦有紗）

大会結果
▼男子⑥中大▼女子④中大

男子4継準V

女子が制した400㍍リレーは、男子も2位でアベック表彰台となった。決勝レースでは、3泳の光永翔音（商1）が5位から1位まで押し上げる驚異的なごぼう抜きを見せた。その後はラスト50㍍で明大に競り負け2位となったものの、「予想されていた順位は6番とかだった」とアンカー田中厚吉（法4）は話した。その上で「2番まで巻き返せたことは、中大の勢いにつながる」とまとめている。

このレースで1泳を務め「田中さんにとてつもなくお世話になったので、どうしてもメダルを掛けたかった」と明かした小山陽翔（法3）は、新体制の水泳部で主将となった。日本短水路選手権で取材に応じ、目指すチーム像について「人間性も成長させてこそ勝利を目指すべきチーム」との考えを示した。また目標は前代から受け継ぐ形で「天皇杯奪還」。さらにそこに「奥野杯獲得」を加えた。つまりインカレでの男女総合優勝というわけだ。小山は主将に就き、監督とこう話したという。「両方とも1位じゃないと、かっこよくないよね」

充実の表情を見せるリレーメンバー

「To dare is to do（挑戦なくして成功なし）」

Center Position

これは米国の政治家ロバート・ケネディの名言であり、私が愛するサッカークラブ、トッテナム・ホットスパーFCのモットーでもある。長年同クラブを応援してきた私は、この言葉を自身のモットーとして取り入れ、大学時代にも「挑戦」の精神で多くの活動に取り組んできた。▼その中で最も大きな挑戦は、「マレーシアへの1年間留学」だ。高校時代、NZでホームステイを機に海外生活への関心が芽生え、大学入学後には長期留学を志すようになった。また所属する国際経営学部は英語での授業が多く、他の学生に後れをとることもあり、英語力向上の必要性を強く感じていた。そんな折、1年次に受講した授業で、マレーシアの高い英語力や多文化社会、経済成長に触れる機会があり、留学先として非常に興味を抱いた。▼単身で挑んだマレーシア生活は、始めは困難の連続だった。気候や文化、授業スタイルの違い、伝わらない英語に戸惑う日々。しかし、日本文化に興味を持つ学生が積極的に声をかけてくれたことで交流が広がり、現地人だけでなく、南アジアやアフリカ出身の留学生とも友情を深めることができた。▼約10カ月の留学生活を通し、全履修科目で最高評価を獲得し、議論や日常会話に困らないレベルの英語力も身につけた。また、異なる文化背景を持つ友人たちとの会話、周辺国への旅行、学内のイベント参加、スポーツや料理を通じての交流等、かけがえのない思い出が数多くできた。特に、多様な価値観を持つ友人と夢や自国について夜通し語り合ったことは忘れられない経験である。▼私の留学に際し、支えてくれた家族、スタッフ、友人、そして笑顔で迎え入れてくれた中大スポーツの皆に深く感謝している。中スポでの活動も残りわずかとなり、大学生活も残り1年。卒業後は社会人としての新たな挑戦が待っている。「To dare is to do」の言葉を胸に、未知の分野でも恐れず飛び込む姿勢を大切にしたい。（渋谷）

4年矜持見せた 松川＆山本

「メダルを取りたかったので満足です」。そう語る松川晟士主将（法4）の表情は晴れ晴れしかった。男子100㍍バタフライ決勝に出場した松川は安定した泳ぎで見事3位表彰台に立った。今大会は主将として引っ張ってきた1年間の総決算となったが「悔いはないです」と笑顔を見せた。そんな松川は4年間苦楽を共にしてきた同期の山本聖蓮（法4）について「彼が本来のベストを発揮すればチームが盛り上がりますし、やってくれると思います」と信頼の言葉を寄せると、山本はその期待に応えるかのように100㍍平泳ぎ決勝で銀メダルを獲得した。前半の50㍍を4位で折り返すも疲れを見せず後半追い上げた。予選よりタイムを落とす結果となったものの「4年生としてしっかり得点できたのでよかったです」と振り返った。大会直前まで不調が続き苦しんだが、最後のインカレを泳ぎ切り「チームのみんなのおかげで最後泳げたのでとても楽しかったです」と締めくくった。

結果	名前	種目
優勝	池本 凪沙（法4）	女子100m自由形
		女子200m自由形
	中大女子	女子4×100mフリーリレー
準優勝	山本 聖蓮（法4）	男子100m平泳ぎ
	中大男子	男子4×100mフリーリレー
3位	松川 晟士（法4）	男子100mバタフライ
	弘中 花音（文1）	女子200m背泳ぎ
	楠田 夢乃（文1）	女子200m平泳ぎ
	中大女子	女子4×200mフリーリレー

公式X Instagram 中スポWEB

らーめん にんにくや
Instagram: ninnikuyaseki
twitter: ninnikuya_h
応援してるぞ～!!

ラーメン二郎 八王子野猿街道店2
アルバイト募集
新入生大歓迎 ラーメン食べ放題
部活会員募集 詳しくはDMで↓ @Jiro_Yaenkaido2

WEBでもスポーツ報知
野球も メジャーも 駅伝も 芸能も
スポーツ報知のゆるキャラHo!さん
無料会員登録で特別コンテンツ見放題

白門アスリートの夢を応援します!!
行動する知性。 中央大学

レイアウト 日向野悠